

パズル寄贈 パズルでおうち時間を楽しく
クマのジグソーパズルを寄贈

12月1日、地域おこし協力隊の高橋彩子隊員が、自身の会社「仙寿介」で作成したジグソーパズルを北秋田市へ寄贈しました。

パズルは、高橋隊員が企画し、市在住のイラストレーターがデザインしたもので、市内を旅するオリジナルキャラクター「クマゾーさん」が描かれています。

高橋隊員は、「ステイホームの時間が増えているので、その時間を使って親子で楽しめるものを考え、ジグソーパズルを製作した。今後は、市内の名所や観光スポットなどを紹介していきたい」などと話しました。



安全祈願 事業拡大や雇用創出に期待
新東北メタル本工場竣工式

新東北メタル（来栖直敏社長）本工場の竣工式が、12月4日に同社工場で行われました。

同社は、建設機械、産業機械用の鋳鋼部品を製作しており、今回の工事は世界的に需要が高まっている鉱山機械の生産量の確保や生産作業の合理化、CO2削減などの環境改善を目的に、工場の増設を行ったものです。

竣工式には、従業員や関係者ら約40人が参加し、玉串を捧げるなど神事を行いました。来栖社長は「世界的に鉱山で稼働する大型機械の需要が高まっている。これから北秋田市や秋田県の活性化につながることを祈念する」などと述べました。



地域防災 防災への協力に意欲を見せる
秋田土建株式会社へ消防団協力事業所表示証を交付

北秋田市消防本部の藤島次長、中嶋署長と市消防団の武石分団長が秋田土建株式会社（北林一成代表取締役）を訪れ、消防団協力事業所表示証を交付しました。

消防団協力事業所表示証の交付制度は、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、北秋田市では2010年から施行され、現在は4事業所に交付しています。

北林代表取締役は「地域防災における消防団員の重要性は承知しており今後とも協力していきたい」などと話しました。



受賞報告 日頃の活動が評価される
令和2年度北秋田市老人クラブ連合会受賞報告

県老人クラブ連合会の表彰受賞式にて各種表彰を受けた市内老人クラブの代表者が、12月2日に市役所を訪れ受賞報告を行いました。

この日は、全国老人クラブ連合会会長表彰を受賞した北秋田市老人クラブ連合会（田口悦郎会長）のほか、受賞を受けた個人、団体の代表者ら6人が市役所を訪れました。

報告では北秋田市老人クラブ連合会の山田金成副会長から「これからの老人クラブは力を合わせて地域が発展するように努力していく必要がある」などと報告がありました。



受賞報告 詩で子どもたちの感性を育む
北東北子どもの詩大賞「詩界功労顕彰」受賞

日本詩人クラブの「詩界功労顕彰」を受賞した、北東北子どもの詩大賞委員会（亀谷健樹委員長）が、11月20日に市役所を訪れ、受賞報告を行いました。

同委員会は、28年間にわたり北東北3県の子どものみずみずしい感性を引き出し、未来への大きな夢と希望のある人間形成を図るために、児童詩普及の活動を続けてきました。

亀谷委員長は「この大賞は全国でも例がなく、秋田県、岩手県、青森県の子どもの感性を磨く目的で始め、今年は応募数も増え、長年の努力が実りつつある」などと述べました。



DVD寄贈 民謡を楽しんでもらうために
市内民謡同好会から民謡DVDの寄贈

市内民謡同好会である前田三味線クラブ、阿仁民楽会、民謡同好会秋田県北会代表が、11月25日に市役所を訪れ、自費制作した民謡DVD26枚を寄贈しました。

同3団体は、コロナ禍の中で自粛生活が続き、民謡を楽しむ機会が減っている中で、市民の方々に民謡を楽しんでもらい、少しでも元気に過ごしてもらおうと「秋の合同練習会」の映像を収めたDVDを作成しました。

前田三味線クラブの加賀隆之さんは「それぞれの会が民謡を生きがいに活動歴40年にもなる。これからも地域のために活動を広げていきたい」などと話しました。



市内のいろいろな出来事をご紹介します



制作報告 「スマイルレール」をイメージして
「内陸線音頭」制作のあいさつ

北秋田市出身の民謡・演歌歌手の池上朝子さんが、新曲「内陸線音頭」の制作あいさつに作曲を手掛けた小竹一臣さんなど関係者らと11月24日に市役所を訪れ、CDをPRしました。

池上さんは、民謡の全国大会に複数回出場し優勝の経験もある方で、今年5月には「お米音頭」を制作し、コメ作りやご飯食の魅力を伝える活動もしています。

津谷市長は「とても軽快な曲で、県内の内陸線に乗車したことのない人に地元の良さを知ってもらうために活用させていただきたい」などと述べ、池上さんは「大変な時代だが、内陸線音頭で明るい気持ちになってほしい」などと話しました。

